

キャンパス万華鏡

大学×SDGs (Sustainable Development Goals)

写真が語る大学の横顔

② スポーツで 高齢者の健康増進



金城大学医療健康学部では、eスポーツを取り入れた高齢者対象の健康増進プログラムの効果検証や多世代交流を図る取り組みを実施している。医学的知識を活用したeスポーツプログラムを体験できるほか、eスポーツのための準備体操、健康談話、心身の相談などを学生とともに行うことで世代間交流することができ、心身の健康増進につなげている。

地域とともに考える、 これからの観光町づくり



尚絅学院大学では近隣地域である塩竈市を舞台に、学生による観光町づくりトークセッションを毎年行っている。昨年は設定課題から「行政」「市場」「歴史」の3テーマに分かれ、それぞれフィールドワークを中心とする研究を進め、2月に市民との討論会を実施。市長をはじめとする行政、観光に携わる企業、一般市民が集まり、熱い議論が交わされた。学生が地域課題に自ら取り組んでいく、「地域と一体となった大学」を体現する取り組みとなっている。

ルワンダで ボランティアプログラム



四天王寺大学

四天王寺大学では、国際交流プログラムの一環として、アフリカのルワンダでボランティアプログラムを実施している。過去の歴史を乗り越え、急激に経済成長する一方、国民の約半数が貧困層で、シングルマザーの増加が社会問題に。そんなルワンダでシングルマザーの雇用を創出する日系ソーシャルビジネス企業「KISEKI」が運営する幼稚園、子供食堂、職業訓練所の複合施設で、シングルマザーや幼稚園教員と共にボランティア活動を行っている。学生は現地の幼稚園で日本の乳児教育を行うなど、異国での教育活動を通して、子どもの健やかな成長を支援している。

発展途上国の生産者支援 フェアトレードを促進



神戸学院大学経営学部の辻幸恵教授ゼミ(3年)は発展途上国の生産者をサポートするフェアトレードの促進に取り組んでいる。4月～5月、神戸市中心部にある大型商業施設「神戸マルイ」で、株式会社神戸珈琲と連携して、同社の国際フェアトレード認証商品を展示し、商品購入の意義をパネルで説明した。5月4、5両日に同市中央区で開かれた「アースデイ神戸2024」でも同社との共同ブースで学生たちがフェアトレードのコーヒーなどを販売した。

JAAF×SDGs プロジェクトで 2年連続入賞



関西外国語大学女子駅伝部が日本陸連主催のJAAF×SDGsプロジェクトで2年連続入賞した。日本陸連がSDGsの17目標に沿った社会貢献活動の実践例を公募したプロジェクトで、その中の③健康と福祉⑤ジェンダー平等を選び、女子選手が長く楽しく競技を楽しめる活動や、地域の子どもたちに陸上競技の魅力を伝える活動など、社会や地域の課題解決につながる取り組みを紹介し、2022年度は最優秀の「BEST THINK賞」、2023年度は「GOOD THINK賞」を受賞した。(JAAF:日本陸上競技連盟)



別府大学は、日本一の温泉湧出量を誇る大分県別府市にある。学生は日常的に温泉と接する機会に恵まれており、それだけに、脱炭素社会への移行に向けて温泉資源、すなわち地熱エネルギーをどのように有効活用できるかについて強い関心を持っている。昨年度、国際経営学科の阿部博光教授のゼミでは、環境省による「脱炭素社会に向けた人材育成研修」の一環として、別府市内鉄輪地区で、温泉の蒸気を利用した「地獄蒸し」料理を体験したほか、県内外の地熱エネルギー関連施設を訪問した。今後も観光だけでなく、資源としての温泉の可能性を探っていくようにしている。

学生主体で実践的指導力向上と 地域社会とのコミュニティ構築を 目指す!



「くらしき作陽大学子ども教育学部」の「特別支援教育ラボ」は、特別支援教育の実践・研究の拠点として、実践的指導力向上を目指す活動に取り組んでいる。地域の特別支援学校等の子どもたちに対し、学生が主体となって学習面・行動面の指導・支援および余暇活動を実施している。ラボに通っている子どもたちとその保護者の思いの場、気軽に相談できる場にもしてもらえ、これも目指し、活動前後には教員や学生達と議論を重ねながら活動している。

歌声で届けたい♪ エシカルへの想い 四国大学



2025年に創立100周年を迎える四国大学は、「これまでの100年を礎にこれからの100年を創造する」というコンセプトで、【四国大学サステナブル宣言】を公表している。SDGsへの関心を高める取り組みとして、エシカルソング「心にエシカル〜芽生える想い〜」を制作した。作曲・メインボーカル(福富弥生氏)、作詞(加渡いづみ教授=写真)、在学生や卒業生による合唱・PVなどの協働制作で、県外のエシカルイベントにおいても利用されYouTubeでも配信されている。(エシカル:道徳・倫理を表す言葉)

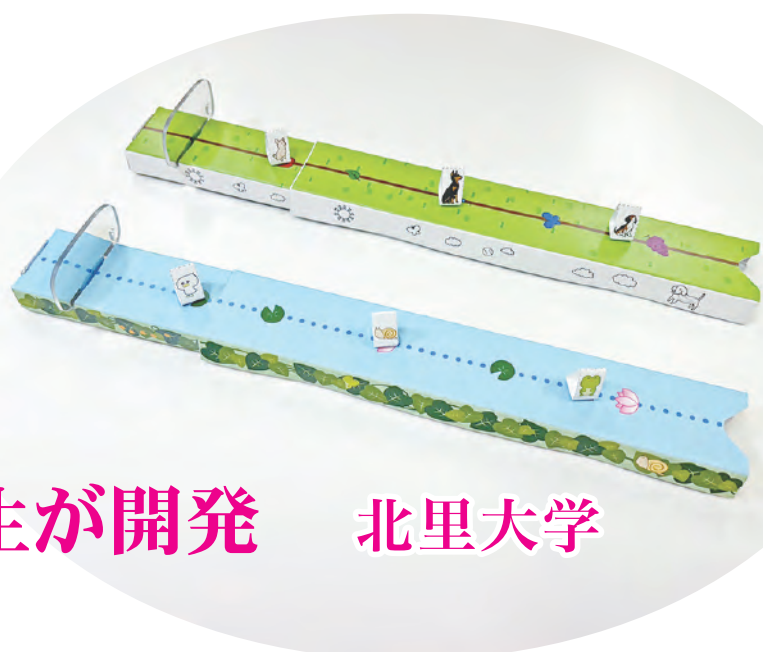


ゼロカーボンキャンパス 実現に向けて!

北海道科学大学

北海道科学大学では、2050年までに実質ゼロカーボンキャンパスを目指すことを宣言し、未来デザイン学部の道尾淳子准教授と学生11人がHUS「ゼロカーボン部」として活動を始めた。このプロジェクトは、キャンパス内のエネルギー消費などを調査し、環境マネジメント推進委員会と連携しながら改善策の提案を行っている。また、学生や教職員の環境改善意識を高めるために何ができるのか、検討を進めていく。今後、キャンパス全体でエネルギー効率の向上や資源リサイクルなど多方面からアプローチをすることで持続可能なキャンパスづくりを目指す。

小児用の眼球運動 ストレッチ器具を学生が開発 北里大学



北里大学医療衛生学部の半田知也教授ゼミの学生が中心となり、COMI株式会社が発売している幅狭訓練が行える眼球運動ストレッチ器具「BinoStretch」の小児用新デザインを開発した。幅狭訓練は間欠性外斜視の視能訓練として主に用いられ、外斜視の予防や小児期における両眼視機能獲得のサポートになる可能性があるが、小児の治療においては、成人と比較幅狭運動の継続性に課題がある。この課題解決を目的として、視覚リハビリを小児が楽しみながら、継続して行えるよう小児用のデザインで新たに作成した。